



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1756

2013年
3月5日

**正規 非正規
スクラム組んで
共に闘う一三春闘**

第102回 拡大地方委員会

組織拡大へのうねりを

東京地方本部は、二月二三日に新橋交通ビルにおいて、第一〇二回拡大地方委員会を開催した。

一〇時三〇分に稲荷副委員長長の司会あいさつで始まり、委員会議長には秋山委員(新橋)を、副議長には千葉委員(新橋)を選出した。

鎌田委員長はあいさつで、「昨年投票された総選挙において安倍政権が誕生し、改憲勢力が三分の二を占めるようになり、原発再稼働をはじめ生活保護の切り捨て、集団的自衛権の行使、国防軍の創設など、様々な動きが危惧され、広範な仲間と連携した取り組みの強化を。一三春闘について、経営側が定期昇給すら凍結を示唆し、雇用破壊、格差社会が深刻化する状況のな

家族会が総会を開催

国労家族会東京地方連合会は二月二四日、東京地方本部会議室を会場に第五八回定期総会を開催した。
冒頭丸山会長から「みんなが顔を合わせ、話しができる場を持ちたいと、この一年間取り組んできた。また、地本青年部の呼びかけで、婦人部の皆さんとともに、バレーボール交流会やビール工場見学などにも参加しとても楽しい時間を過ごすことができた。多くの仲間が国労に加入してきているが、仲間を増やすためのお手伝いを家



議事に入り松川書記長から経過報告・当面する闘争方針(案)が提案され、昼食休憩のあと、春闘標語コンクール、組織拡大ポスターコンクール表彰式が行われた。
討論に入り、一三名の委員から組織強化拡大の取り組み、委託・下請けにからむ

委員会宣言

地方本部は本日、第102回拡大地方委員会を開催し、委員の真摯な討論により昨年の大会で確立した運動方針の中間総括を行い、当面する闘争方針を確立した。

地方本部はこの間、組織強化・拡大を最重要課題とし、各級機関のさまざまな取り組みにより多くの成果をあげてきた。新入社員やグリーンスタッフ、エルダー社員まで多くの仲間が国労の戦列に加わってくれた事は、私たちの取り組みの正しさを象徴している。組織強化・拡大を実現することによって、労働条件改善等私たちの取り組みも大きく前進する。国労の総力をあげたこの闘いに全機関・全組合員が取り組み、拡大への大きなうねりを作り出していかなければならない。

職場では「外注化」「機械化・システム化」などコスト削減を基本とするあらゆる施策が際限なく行われ、労働条件の劣悪化・人員の削減が続いている。車両検修部門では、「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」により、大幅な委託拡大・子会社化が段階的に進められている。同様に、JR貨物会社においても下請け化、業務集約化などが進んでいる。また、グリーンスタッフは駅業務に配属されてから5年が経過し、懸念されていた雇止めが発生している。一部の社員は環境アクセスで採用されたものの、正社員となっても労働条件は悪化している。日々雇用不安の中で仕事をさせられているグリーンスタッフ、そして環境アクセス社員の労働条件改善は労働組合として喫緊の課題である。こうした中で、労働者の安全を守り、労働条件の改善を目指す私たち国労の取り組みは一層重要になっている。

私たちはこれまで安全・仕事総点検運動を職場で取り組み、安全や労働条件に係わる具体的な事実から改善を求めてきた。「職場に労働運動を」「職場の中心に国労がすわるう」の方針の通り、全職場からの取り組みを展開していくことが重要である。同時に、生活と雇用を守り、反戦平和・民主主義、覆轍を掲げ、福島第一原発事故を教訓に原発の闘いを強めて行くことが一層重要である。そのためにも2013年春闘勝利に全力を挙げることが求められている。

これらすべての課題に勝利するため、国労東京地方本部に結集するすべての機関・組合員は全力を挙げることをとする。

以上、宣言する。

2013年2月23日
国鉄労働組合東京地方本部
第102回拡大地方委員会

その後書記長集約が行われ、当面する闘争方針が確立された。「新入社員対策に全力をあげ、組織強化・拡大を勝ち取る特別決議」「大幅賃上げと雇用を守り、社会保障の充実を目指す、二〇一三年国民春闘勝利に向けた特別決議」が全体の拍手で決議され、委員会宣言を採択し、すべての議事が終了。副議長の退任のあいさつがされ、稲荷副委員長から閉会のあいさつがなされ、鎌田委員長の団結がんばろうで委員会は終了した。



秋山議長

千葉副議長

春闘標語コンクール

入選
正規 非正規 スクラム組んで
共闘 闘う 一三春闘
大宮車両所分会 大岡 康男

佳作
職場から 地域から 声を上げよう
大幅賃上げ 春闘勝利
大宮総合車七分会 杉田 昇

組織拡大ポスターコンクール

入選
上野支部
入選
神奈川地区本部

第33回 スキー大会

in 湯沢パークスキー場



東京地方本部は、二月一九日～二〇日に湯沢パークスキー場において、第三十三回東京スキー大会を開催した。

開会式は一三時だが、九時頃から選手が集まり始め、それぞれ練習に熱が入っていた。

開会に先立ち、パークスキー場スキー学校の皆さんとスキー連盟を中心に選手も手伝いながら回転競技のポールを立てていった。

小雪が降り続く中ではあったが、一三時小雪山が降り続く中ではあったが、一三時にゴールハウス前で開会式を行い、鎌田委員長と国労東京スキー連盟関口会長からあいさつを受け、村越選手の選手宣誓が行われた。一四時に競技開始となり、国労OB

で八三歳の柿本選手をはじめ、OBクラス・Aクラス・Bクラスに分かれ力の入った滑りが続いた。競技終了後は夕食を兼ねた交流会が行われ、さらに部屋へ戻って交流は遅くまで続いた。

二日目は無風でちょうどよいコンディションの中で、九時半から大回転の競技を開始した。昨日の回転競技と違い、スピードが早く、見ているだけでも迫力満点だ。

競技終了後、一二時から湯沢パークホテルの大広間を借り、閉会式と表彰式を行い、今年も橋川選手の総合優勝のほか、表彰状やメダルが鎌田委員長から手渡され、全員で来年の健闘を誓い、合い終了した。

八王子地区本部 組対交流会 拡大へ 全力を

八王子地区本部は二月三日～四日に恒例の組織拡大交流会を石和温泉で開催した。

冒頭、小山委員長から「コミュニケーションを深める事が少ない。腹を割って本音の議論をする事が求められている。現状をどう変えていくか。コミュニケーションの力が仲間を復帰させ、加入させる。」などの主催者あいさつがされた。

東京地本松川書記長から会社施策や組織拡大の背景などの情勢報告が、拡大が続く神奈川地区本部から大船支部書記長で鎌倉駅分会の福元さんから三名の復帰加入とその教訓の報告がされた。

続いて組織拡大を勝ち取った分会からの報告で、車掌区職場から「復帰加入の声掛けに、一部に異論もあったが、それを抑えての加入実現。若い人達は会社人間も多

く、組合不要と言う人さえる。そこでどう若い人達と話すのかを考えなくては、昨年GSの加入があった職場からは「職場に劣悪な雇用形態がある。正社員になり



たい思いがズシンと響く。職場で正社員以上の仕事をして、労働条件は低い。拡大にマニュアルは無い。一人では限界がある。協力が必要」、甲府地区協から保線技セで

スキー大会総合成績

優勝	橋川 康宏
準優勝	大越 進
三位	村越 淳
四位	山崎 浩
五位	戸野塚 昭雄
六位	大槻 彦三

東神奈川電車区
三鷹保線技セ
東京工事事務所
大宮信号通信技セ
大久保駅

ができる国労の人たちの評価が低いのを不信に思った。私たちは労働組合の必要性を彼に教え、分会が安心して働ける職場を目指している事などを伝えていった。これから甲府全体へどう波及させていくかが求められる」などの話がされた。

その後熊田組織部長からの提起後、分散交流会が行われ、突っ込んだ議論がされた。

翌日は東日本本部高野委員長から情勢報告、東京地本宮崎組織部長から東京地本の組織拡大への取り組みの報告を受け、続いて昨日の分散交流会の報告がされた。

その後フリー討論を行い、A保技セから「会社のイベントに若い人が行かされる。仕事が溜まり、残業が増える。若い人の不平不満を組織拡大につなげていきたい」、B運転区では「拡大の意識が高まっている。議論もされている。一方、国労の運動を身近に感じる事が少なくなつた。どう改善をみせるかだ」、C保技セからは「話しかけていこう。不満・悩みを聞こう。一人一人がつかんでいる事を報告しよう。A労組に入って失敗した、と言う人は多いが、国労に入ってから失敗した、と言う人は多い」などの話が出された。

最後に横森書記長から「国労に加入させて責任が持てるのか、という話もあるが、本当にA労組にいるのが幸せなのか。職場の検証ができるのは国労だけ。一人一人の職場での真摯な取り組みが積み重なって今の拡大がある。まだまだ拡大はできる」などのまとめがあり、最後に小山委員長長の団結ガンパローで終了した。

国労東京法律相談

初回は無料 3/13
3/13は12時半から
14時～16時 4/10
(30分) 5/8
要予約(5日前まで) 6/12



大越選手 橋川選手 村越選手

「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000 円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 一時金として 100 万円 上皮内新生物の場合 一時金として 10 万円
入院したとき	入院給付金	1 日につき 10,000 円
通院したとき	通院給付金	1 日につき 10,000 円
手術したとき	手術治療給付金	1 回につき 20 万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1 回につき 20 万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1 カ月 10 万円 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のと き(すべての保険期間を通じ通算 600 万円まで) 1 カ月 5 万円

プレミアムサポート 訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

【引受保険会社】アフラック東京第三法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き

【募集代理店】アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋 5-15-5 交通ビル 3F

コールセンター 0120-5555-95

電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料 (団体取扱)
生きるためのがん保険 DAYS(デイズ) スタンダードプラン
(2011年4月1日現在)
入院給付金日額 10,000 円 定額タイプ
保険料払込期間: 終身 (抗がん剤治療特約は 10 年更新)

	35 歳	45 歳	55 歳	65 歳
男性	3,656 円	5,608 円	9,360 円	15,190 円
女性	3,734 円	5,274 円	6,864 円	9,048 円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】アベニール株式会社 東京営業所

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-55-1 国労東京地方本部内

JR 電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275
電話 03-3806-9264